

令和5年4月26日
都市局 都市計画課

「スマートシティサービスの連携ユースケース」の公開 ～更にスマートなまちづくりへ～

国土交通省では、スマートシティの実装に向けた先進的な取組を支援しております。この度、スマートシティサービスの検討・実装を支援するため、複数のスマートシティサービスの連携を示した「スマートシティサービスの連携ユースケース」を作成しました。

1. 背景

国土交通省では、令和元年度よりスマートシティの実装に向けた先進的な取組を支援してきました。全国各地で様々なスマートシティに関する取組が進展する中、スマートシティ先進都市においては、新たなスマートシティサービスの創出や、分野間・都市間における複数サービスの連携・展開等に苦慮しており、一つ一つの取組に時間と労力をかけて進めている現状があります。

こうした現状から、「スマートシティモデル事業等推進有識者委員会」（座長：石田東生 筑波大学名誉教授）における議論等を踏まえ、複数のスマートシティサービスの連携の検討・実装が進むよう、各地のスマートシティサービス事例をもとに、それらを連携させることでさらに有用なスマートシティサービスを構築できるという姿を整理した「スマートシティサービスの連携ユースケース」を作成しました。

2. 「スマートシティサービスの連携ユースケース」の概要（別添）

個別のスマートシティサービスを連携させた姿をわかりやすく示すために、以下の5パターンのユースケースを作成しました。

- AIカメラを用いて「まちなかの情報」を取得した、データを用いたまちづくり
- アプリを用いた「まちなかの情報」の提供による、賑わい創出
- パーソナライズ情報提供等による、災害発生時の避難支援の迅速化・高度化
- 発災箇所のリアルタイムデータの共有等による、情報伝達の迅速化
- 3D都市モデルを用いた被害状況の可視化等による、様々な防災の取組の高度化

※「スマートシティサービスの連携ユースケース」及び有識者委員会の内容については、下記に掲載しております。

https://www.mlit.go.jp/toshi/tosiko/toshi_tosiko_tk_000063.html

【問い合わせ先】

国土交通省スマートシティプロジェクトチーム事務局 大嶋、坂口、村西、工藤
電話 03-5253-8111（内線 32672、32673、32628、32674）、03-5253-8411（直通）

スマートシティサービスの連携ユースケースの作成 (R5.4)

○スマートシティ実施都市の更なるスマートシティサービスの検討・実装を支援するために、「**スマートシティサービスの連携ユースケース**」を作成。

- ・各地のスマートシティサービス事例を基に、複数のスマートシティサービスが連携する姿を整理
- ・複数の関連するサービスが連携することで、より利便性の高いサービスに繋がることを提示

スマートシティサービスの連携ユースケース

個別のスマートシティサービスを連携させたユースケースをわかりやすく示すために、複数パターンを整理し、それぞれ、**全体像（イメージ）・サービス概要・データ体系・技術**について整理した。

▼各論点についてパターンごとに1枚ずつ整理



5つのパターン

観光・地域活性化分野、防災分野の中から比較的ニーズの多い内容を5つのパターンに整理し、複数サービスの連携した姿を提示

パターンA

AIカメラを用いて「まちなかの情報」を取得した、データを用いたまちづくり

パターンB

アプリを用いた「まちなかの情報」の提供による、賑わい創出

パターンC

パーソナライズ情報提供等による、災害発生時の避難支援の迅速化・高度化

パターンD

発災箇所のリアルタイムデータの共有等による、情報伝達の迅速化

パターンE

3D都市モデルを用いた被害状況の可視化等による、様々な防災の取組の高度化

スマートシティモデル事業等推進有識者委員会

石田 東生
伊藤 香織
白坂 成功

筑波大学 名誉教授 <座長>
東京理科大学 理工学部 建築学科 教授
慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 教授

中川 雅之
原田 達也
村木 美貴

日本大学 経済学部 教授
東京大学 先端科学技術研究センター 教授
千葉大学大学院 工学研究院 教授

※当委員会の意見を伺い、本連携ユースケースを作成